

DAiKO

第66期 中間報告書

2018 4 .1 — 2018 9.30

大興電子通信株式会社

証券コード：8023

66th



お客様の「コトづくり」支援が できる会社を目指して

大興電子通信株式会社
代表取締役社長

松山 晃一郎

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当情報サービス業界は、IoTやAIなど新技術を活用した先進事例が一部で実現する一方、民需分野では、企業規模の大小を問わず、慎重な投資姿勢は維持しながらも、人手不足を背景とした生産性向上や合理化目的のICT投資を中心に企業のシステム投資は堅調に推移しております。

このような状況のなか、当社グループは、トップラインの拡大を目指した受注活動の強化に努め、収入の安定化を図るべくストックビジネスの増強にも継続して取り組みました。同時に、サイバーセキュリティ製品「AppGuard®」の拡販ならびに、スマートウォッチを

活用したウェアラブル事業にも注力いたしました。

さらに、お客様の経営課題の解決をご支援するために、「人の品質」「物の品質」「仕事の品質」の向上を目指し、顧客満足度の高いサービスの提供に努め、収益基盤の強化を図りました。

引き続き、当社グループでは、「お客様第一」の方針のもと、「価値ある仕組」としてのICTサービスの提供に努めると共に、お客様に寄り添い、業務に精通することで、モノづくりとしてのシステム構築から、お客様のビジネスに直結する「コトづくり」としてのソリューションを提供してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、ご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

お客様の業務に精通することでコトづくりを提供

マルチベンダー

富士通の大手パートナー

であると同時に、他のメーカーも扱う

マルチベンダー

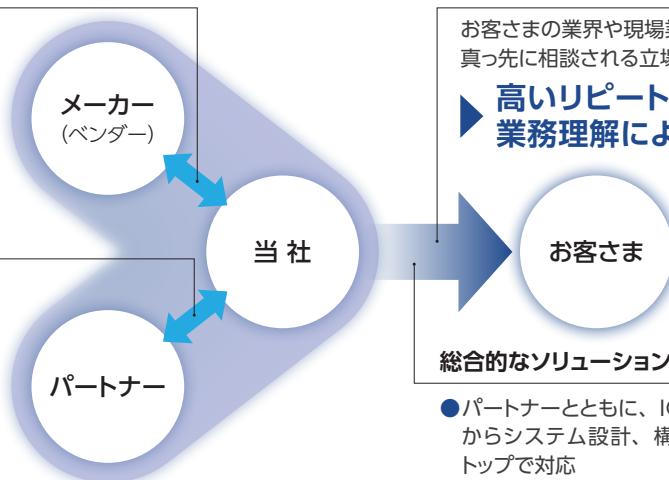
常にお客さまのニーズに合わせた最適な商品・サービスの提供が可能

パートナー基盤

2,700社超

ソリューションパートナー、
民需ソフトパートナー、公共パートナー、
工事パートナー、インフラ系パートナー

信頼に基づく密接なパートナーシップを構築し、互いの強みを融合して強力なソリューションを提供



多様な顧客業務への精通

お客さまの業界や現場業務に精通した主治医として、
真っ先に相談される立場に

▶ **高いリピート率**
業務理解による多面的な提案

総合的なソリューションの提供

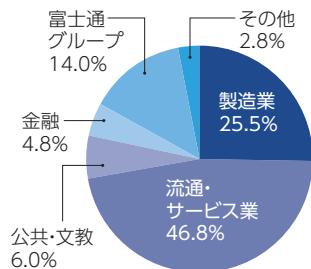
- パートナーとともに、ICTに関するコンサルティングからシステム設計、構築、運用、検証までワンストップで対応
- 富士通グループをはじめ、複数ベンダーの製品・サービスからICTの栄枯盛衰を踏まえ最適解を提示

事業基盤

顧客企業数は、2万社以上。長年にわたる直接取引を背景に、強固な顧客基盤を構築

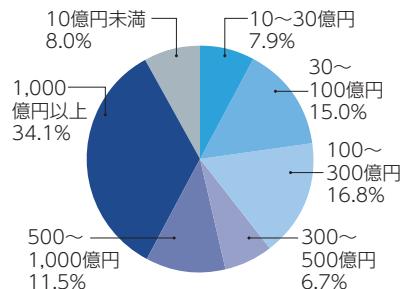
業種別 売上高構成比

- 製造業、流通・サービス業が中心
- 約8割が民間企業



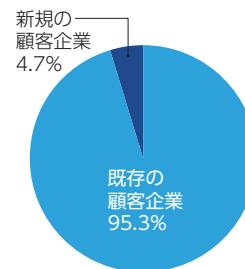
年商規模別 売上高構成比

- 約5割が中堅企業



新規・既存別 受注高構成比

- 既存のお客さまからのリピート受注が9割超 ⇒ 既存顧客に注力



*データはすべて2018年3月期

**個別受注型
生産管理システム**

部品表の一元管理で
ビジネススピードが向上

個別受注生産、多品種少
量生産を強力に支援す
る、生産管理パッケージ

rBOM



**専門店向け店舗
システムソリューション**

顧客情報の管理・分析
で売上を向上

専門店向けPOSシステム
を中心に、物販店向け在
庫管理システムやアパレ
ル向けMDシステムなど、
店舗のニーズに応える製
品をラインナップ

R Retail Focus

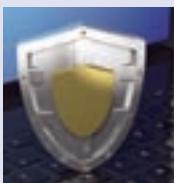


**統合マイナンバー
セキュリティ
ソリューション**

マイナンバーの収集～
廃棄までを一元管理で
安全性を確保

マイナンバーの収集、保
管、利用、廃棄までのサ
イクルを安全に管理するセ
キュリティソリューション

D's GUARDIAN



**エンドポイント
プロテクション**

猛威を振るうサイバー
テロの攻撃を防御

情報資産のセキュリティ
という重要な課題を解決
し、サイバー攻撃の脅威
からシステムを防御する
新概念のソリューション

AppGuard®



**DAiKO
SOLUTION**

お客さまの経営目標達成を
ご支援するためのこだわりとして、
DAiKOは多くの商品・サービスを
ご用意しています。

DAiKOの強みは、特定の商品・
サービスに限定せずに、
お客さまのニーズに最適なものを
選んでご提供できることです。

インフラソリューション

●セキュリティ

企業の情報資産保護をご支援します。

●通信ネットワーク

様々なコミュニケーション手段をご提案します。

●コンピュータネットワーク

ビジネスの変化や事業の拡大に合わせた拡張性をご支援します。

●クラウド・アウトソーシング

クラウドの活用により、ビジネス・イノベーション加速をご支援します。

●エンジニアリング

情報通信関連の施工から運用保守まで、安心品質でご提案します。



**クラウド型
情報配信システム**

情報端末と双方向通信し
ワークスタイルを革新

PCや携帯電話、スマート
フォンなどの情報端末と
双方向通信し、給与明
細、在席管理、安否確認
などをWEB上で情報配
信するシステム

i-Compass



**間接資材
調達支援システム**

調達コスト削減と
調達プロセスを可視化

サプライ品など間接材の購
入から納品、検収までを一
元管理し、業務の効率化
と、調達プロセスの省力
化、購買情報の管理をサ
ポートするソリューション

PROCURE SUITE



**電子帳票配付・
データ交換ツール**

注文書発行のコスト削減や
リードタイム短縮を実現

仕入先との EDI (データ
交換の電子化) を低コス
ト・短納期で実現するク
ラウドサービス

EdiGate POST



**ウェアラブル
ソリューション**

ウェアラブルデバイスと
AIテクノロジーの融合

スマートウォッチから得ら
れるセンシングデータをAI
解析し、業務改善、人員
配置の効率化、健康管理
にまで活用できる先端テ
クノロジーソリューション

low



(注) AppGuard®は、(株)Blue Planet-worksの商標または登録商標です。

(注) low®は、ミライアプリ(株)の商標または登録商標です。

新規ビジネスの強化

「AppGuard®」をコアに、セキュリティビジネスの拡大を推進

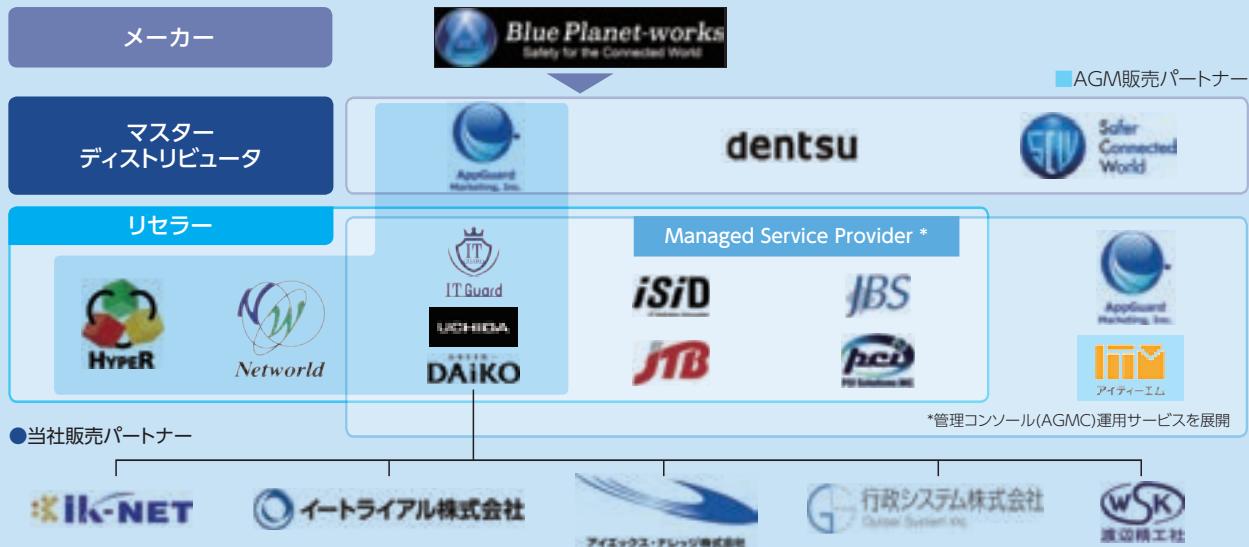
特徴

- (株)Blue Planet-worksが提供する技術
- 米政府機関で18年以上破られたことのない革新的なサイバーセキュリティ技術（適正でない動作を遮断する仕組みであり、従来のセキュリティ製品では対応が難しい未知のウイルスにも対応可能）
- ファイルスキャンの必要がなくPCのシステム負荷が格段に軽量（IoT製品やモバイル端末、自動車などへの応用も可能）
- パターンファイルの概念がないためアップデート不要・誤検知ゼロで運用が容易

実績など

- 米GSN (Government Security News) : Homeland Security Award (過去3年連続)
- 米国陸軍通信技術司令部(NETCOM)より認証を取得：Certificate of Networthiness (CoN)
- 日経 xTECH EXPO AWARD 2018：セキュリティ賞受賞

AppGuard® 国内販売サービス体制



(注) (株)AppGuard Marketingは、当社と(株)Blue Planet-worksとの共同出資により設立した当社の連結子会社です。



■ 2019年3月期第2四半期(累計)の連結業績：
前期の大型案件の影響により減収も、営業利益は過去最高を記録

受注高
17,077百万円
(前年同期比 +3.6%)

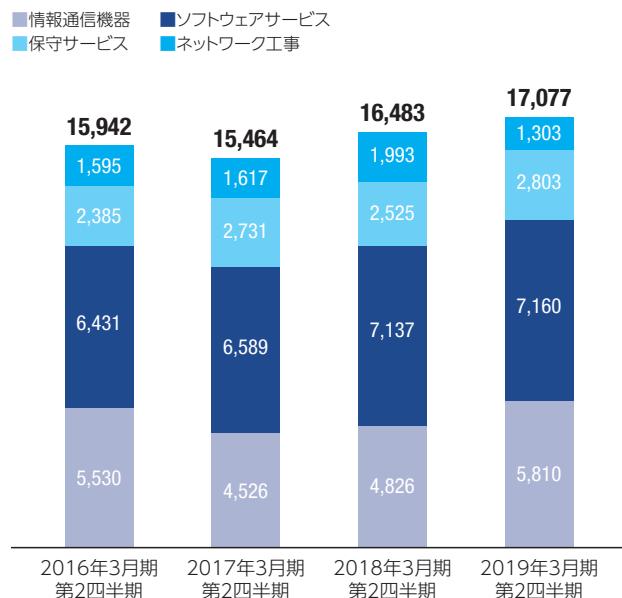
売上高
16,071百万円
(前年同期比 △2.8%)

営業利益
434百万円
(前年同期比 +328.3%)

■ 事業部門別の状況

受注高の推移

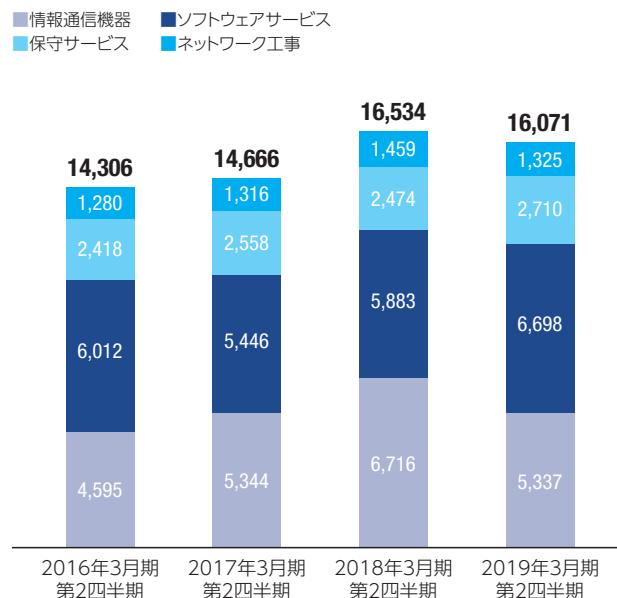
(百万円)



- 富士通グループとの連携強化により、情報通信機器部門が好調(前年同期比+20%)
- ソリューション部門では、民需部門が好調であり、ストックビジネスも増加し伸長

売上高の推移

(百万円)



- 情報通信機器部門は、前期大型案件からの反動減
- ソリューション部門では、公共と民需部門がともに好調なソフトウェアサービス、およびストックビジネスが増加し堅調に推移

■ 2019年3月期通期連結業績の見通し

(百万円)

	2018年3月期 実績	前期比 増減率	2019年3月期 予想	前期比 増減率
売上高	33,286	+7.2%	33,050	△0.7%
営業利益	565	+16.9%	650	+14.9%
経常利益	594	+26.1%	690	+16.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	433	△27.1%	490	+12.9%

(注) 当初予想 (2018年5月11日公表) から変更はありません。

■ 中期経営構想『D's WAY』

D's WAY 3つの使命

- ① 利益を出し社会に貢献する
- ② 社員が安心して働ける
- ③ お客さまに満足していただける

● D's WAYロードマップ



(注) 「SIMQ with P」…会社の基盤となる利益の安定化を実現するため、組織横断で活動するタスクフォース。

会社概要 / 株式の情報

会社概要 (2018年9月30日現在)

商号	大興電子通信株式会社
証券コード	8023 (東証第二部)
設立	1953年12月1日
所在地	東京都新宿区揚場町2番1号
電話	03(3266)8111(代表)
資本金	19億6,906万8,326円
従業員数	727名

企業集団の状況 ●連結子会社 ●持分法適用関連会社

●大興ビジネス(株)	東京都新宿区神楽坂1丁目1番1号
●大興テクノサービス(株)	東京都台東区上野3丁目3番4号
●(株)AppGuard Marketing	東京都新宿区揚場町2番1号
●(株)大和ソフトウェアリサーチ	東京都千代田区平河町1丁目2番10号
DAIKO GLOBAL MARKETING CO.,LTD.	100/59 Sathorn Nakorn Tower Room no.4, 29th Floor, North Sathorn Rd., Silom, Bangrak, Bangkok 10500 THAILAND

株式の状況 (2018年9月30日現在)

発行可能株式総数	47,900,000株
発行済株式の総数	13,868,408株
株主数	2,043名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
富士通株式会社	1,866	13.63
株式会社オービック	1,500	10.95
ライフスタイル・ジャパン投資事業有限責任組合	1,307	9.55
株式会社大和証券グループ本社	1,277	9.33
大興電子通信従業員持株会	759	5.55
株式会社ドッドウエル ビー・エム・エス	637	4.65
興銀リース株式会社	517	3.78
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	213	1.56
大興電子通信取引先持株会	205	1.50
サンテレホン株式会社	200	1.46

(注) 持株比率は自己株式(174,096株)を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
決算期	3月31日
定時株主総会	6月
基準日	3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

配当金受領 株主確定日	3月31日
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。但し、やむをえない事由により電子公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載します。

【ご注意】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

大興電子通信株式会社

〒162-8565 東京都新宿区揚場町2番1号 軽子坂MNビル
TEL 03-3266-8111 (代表)

▶ <https://www.daikodenshi.jp/>

